



棚卸の実施について

すでに、経営戦略係よりお知らせがありましたように、2025年3月31日(月)に棚卸が実施されます。薬価改定に伴い、薬価引き下げが見込まれる医薬品につきましては、3月末の在庫に関して必要以上の在庫を持たない取り組みを実施します。

そのため、在庫不足により医薬品の供給が遅れることがありますが、医薬品費削減のためご協力のほどお願いいたします。

パイルパッカー分包紙の変更について

現在使用中の機器の経年劣化に伴い、シール不良が度々発生しておりますので、この度新しい機器に変更します。それに伴い、分包紙とシール部分に変更がありますので、お知らせいたします。

旧分包紙



新分包紙



※山口大学医学部附属病院薬剤部の印字がなくなります。
また、シール部分の幅が広がります。

販売中止のお知らせ

◎イオパミロン注 150 200mL、同注 300 20mL(一般名:イオパミドール)〈非イオン性尿路・血管造影剤〉

販売中止予定時期: 2025年8月中旬(予定)

経過措置期間満了日: 2026年3月31日(予定)

◎テトラビック皮下注シリンジ(一般名:沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン)

〈ワクチン・トキソイド混合製剤〉 ※自由診療医薬品

販売中止予定時期: 在庫消尽をもって販売中止

有効期限変更のお知らせ

◎トレプロスト吸入液 1.74 mg(一般名:トレプロステニル)〈プロスタグランジン I₂誘導体制剤〉

有効期間: 36 箇月 → 48 箇月

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎フェンタニル注射液0.25 mg「テルモ」(一般名:フェンタニルクエン酸塩)〈麻酔用鎮痛剤〉 ※代替医薬品
出荷量: 未定 製造販売業者の対応 : ②限定出荷 (自社の事情)

◎フェンタニル注射液0.5 mg「テルモ」(一般名:フェンタニルクエン酸塩)〈麻酔用鎮痛剤〉
出荷量: C 出荷停止 製造販売業者の対応 : ⑤供給停止

◎アドエア100ディスカス60吸入用(一般名:サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル)
〈喘息治療配合剤〉 ※院外専用医薬品

◎カイトリル注1mg(一般名:グラニセトロン塩酸塩)〈5-HT₃受容体拮抗型制吐剤〉

◎ハイカムチン注射用1.1 mg(一般名:ノギテカン塩酸塩)〈抗悪性腫瘍剤〉

◎ミオコールスプレー0.3 mg(一般名:ニトログリセリン)〈定量噴霧式・ニトログリセリン舌下スプレー剤〉

◎リスパダールコンスタ筋注用25 mg(一般名:リスペリドン)〈リスペリドン持続性懸濁注射液〉
出荷量: B 出荷量減少 製造販売業者の対応 : ②限定出荷 (自社の事情)

◎オーグメンチン配合錠250RS(一般名:クラブラン酸カリウム、アモキシシリン水和物)〈複合抗生物質製剤〉
出荷量: B 出荷量通常 製造販売業者の対応 : ③限定出荷 (他社品の影響)

◎ソル・コーテフ静注用500 mg(一般名:ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム)〈副腎皮質ホルモン剤〉
出荷量: A+ 出荷量増加 製造販売業者の対応 : ②限定出荷 (自社の事情)

◎ロゼバラミン筋注用25 mg(一般名:メコバラミン)〈筋萎縮性側索硬化症用剤〉
出荷量: A+ 出荷量増加 製造販売業者の対応 : ④限定出荷 (その他)

【参考情報】

日薬連発第137号『「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて』の定義に基づく

限定出荷解除のお知らせ

◎イナビル吸入粉末剤20 mg(一般名:ラニナミビルオクタン酸エステル水和物)〈長時間作用型ノイラミニダーゼ阻害剤〉
2025年2月下旬より限定出荷解除

◎ガーダシル水性懸濁筋注シリンジ(一般名:組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン)
〈ウイルスワクチン類〉 ※自由診療医薬品
2025年2月3日より限定出荷解除

◎カルブロック錠16 mg(一般名:アゼルニジピン)〈持続性Ca拮抗剤〉
2025年2月下旬より限定出荷解除

◎クラバモックス小児用配合ドライシロップ(一般名:アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム)
〈β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗生物質製剤〉
2025年2月より限定出荷解除

◎ゴナールエフ皮下注ペン900(一般名:ホリトロピン アルファ(遺伝子組換え))
〈遺伝子組換えヒト卵巣刺激ホルモン(FSH)製剤〉
2025年2月18日より限定出荷解除

◎シルガード9水性懸濁筋注シリンジ(一般名:組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン)
〈ウイルスワクチン類〉 ※自由診療医薬品
2025年1月20日より限定出荷解除

効能・効果、用法・用量等追加・改訂のお知らせ

*追加・改訂部抜粋

◎ファセンラ皮下注30 mgシリンジ(一般名:ベンラリズマブ(遺伝子組換え))

＜ヒト化抗IL-5受容体 α モノクローナル抗体製剤＞

【効能・効果】既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症

【用法・用量】通常、成人にはベンラリズマブ(遺伝子組換え)として1回30 mgを4週間隔で皮下に注射する。

◎1%ディプリバン注キット(一般名:プロポフォール)＜全身麻酔・鎮静用剤＞

【用法・用量】ディプリフューザーTCI機能 → TCI機能

(☆ディプリフューザーTCIモジュールが組み込まれた専用のシリンジポンプを使用する必要があるが、ディプリフューザーTCIモジュールが製造中止となった。代替として、TCI機能を搭載した専用のシリンジポンプとして、同様に作動するMarshモデルが組み込まれた新型のシリンジポンプが販売されることになり、新型のシリンジポンプも含んだ内容となるよう改訂)

◎エプキンリ皮下注4 mg、48 mg(一般名:エプコリタマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤/二重特異性抗体製剤＞ ※臨時採用医薬品 *下線部改訂

【用法・用量】＜再発又は難治性の**大細胞型 B 細胞リンパ腫** (びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫/高悪性度 B 細胞リンパ腫/原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫)、再発又は難治性の**濾胞性リンパ腫** (Grade 3B) ＞

○2ステップ漸増

通常、成人にはエプコリタマブ(遺伝子組換え)として、28日間を1サイクルとして、1サイクル目は1日目に1回0.16 mg、8日目に1回0.8 mg、15日目及び22日目に1回48 mgを皮下投与する。その後は1回48 mgを、2及び3サイクル目は1、8、15、22日目、4から9サイクル目には1、15日目、10サイクル目以降は1日目に皮下投与する。

＜再発又は難治性の**濾胞性リンパ腫** (Grade 1~3A) ＞

○3ステップ漸増

通常、成人にはエプコリタマブ(遺伝子組換え)として、28日間を1サイクルとして、1サイクル目は1日目に1回0.16 mg、8日目に1回0.8 mg、15日目に1回3 mg、22日目に1回48 mgを皮下投与する。その後は1回48 mgを、2及び3サイクル目は1、8、15、22日目、4から9サイクル目には1、15日目、10サイクル目以降は1日目に皮下投与する。

包装変更等のお知らせ

◎リベルサス錠3 mg、7 mg、14 mg(一般名:セマグルチド(遺伝子組換え))＜2型糖尿病治療剤＞

- ・PTPシート裏面の文字色の変更
- ・「ミシン目以外で切らない」の注意書きの削除

重複投与にご注意ください

注射薬のアセリオと内服薬のカロナルのように、薬剤名は異なっても成分がアセトアミノフェンで同一の薬剤が存在します。薬剤の処方・投与時は重複投与とならないようご注意ください。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 417

★厚生労働省は、令和7年1月29日にペムブロリズマブ（遺伝子組換え）の使用上の注意の「11.1重大な副作用」に「膵外分泌機能不全」の追記を指示する通知を発出した。

これまで国内の医療用医薬品の使用上の注意では、副作用として「膵外分泌機能不全」を記載しているものがなかったことから、本稿では膵外分泌機能不全の疾患概念等を紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

* 追加部抜粋

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介する。

◎アルギニン含有注射剤(商品名:①ビーフリード輸液(500 mLバッグ)、②アルギニン点滴静注30 g「AY」)

【特定の背景を有する患者に関する注意】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ☆ビーフリード：(チアミン塩化物塩酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者を除く)

治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。アナフィラキシーが発現するおそれがある。

【副作用】 アナフィラキシー

※当該症例 ①4例【死亡0例】

②6例【死亡0例】

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係が否定できないもの。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 又は厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/>) から確認可能。